

FREE

ご自由にお持ちください。

No.803
2020 August

8

岐阜県の森林・林業

も り
森林のたより



News of the forest



県産材の利用の拡大



●令和元年度に製材工場への木材乾燥機（高温及び高周波減圧乾燥装置）の導入支援を行いました。



編集・発行 公益社団法人 岐阜県山林協会

E-mail sanrinag@quartz.ocn.ne.jp

<http://www.g-forestry.or.jp> (公社)岐阜県山林協会の情報をご覧ください。

開催日	行事名等	内容等 (概要、定員、受講料、申込期限など)	場所
			申込(問合せ)先/TEL
8月22日(土)~ 8月23日(日)	森林文化アカデミー オープンキャンパス	岐阜県立森林文化アカデミーは、林業、森林環境教育、木造建築、木工の分野で活躍できる人材を育成している専修学校です。入学を検討されている方を対象に、オープンキャンパスを開催します。 ●時間：10時から16時まで ●内容：学校紹介、教員との面談、在学生との交流、入試過去問の配布等 ●参加費：無料	森林文化アカデミー (美濃市曾代 88) 森林文化アカデミー TEL 0575-35-2525 FAX 0575-35-2529 E-mail info@forest.ac.jp URL https://www.forest.ac.jp
9月30日(水) 締め切り	令和3年用 国土緑化・育樹 運動標語の募集	令和3年用国土緑化・育樹運動のポスター等で使用する標語を募集します。	公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 (岐阜市六条江東2丁目5番6号) TEL 058-273-7577 FAX 058-273-7547 E-mail gifu-ryokusui@mtj.biglobe.ne.jp



イベントカレンダー(一般向け).....	2
100年先の森林づくりシリーズ15.....	3
生きた森林づくり 県産材の利用の拡大.....	3
「白山白川郷ホワイトロード」イベント情報.....	3
山の歳時記(180) センソウ.....	4
水源地域内で小規模開発を行う場合には、 事前の届出が必要になります。.....	5
山のおしやまし(349) —3か月で9cmに成長 カマキリ—.....	6
木の香るさふの施設(89) 揖斐川町立いびがわ図書館.....	7
治山・林道研究課題.....	7
〜尾城山林道における維持管理の軽減に配慮した取組について〜.....	8
シリーズ「森林・環境税」で緑豊かな清流の国ぎふづくり(4).....	9
シリーズ「森林文化の研究と実践」①.....	10
松くい虫被害を受けたアカマツの利活用 炭づくりと刀剣鍛冶!.....	10
森林と人を活かす知恵(91)「素材を知ることと命とつながる」.....	12
研究コーナー 花粉症の軽減を目指してⅢ.....	13
普及コーナー 可茂地域における普及活動について.....	14
スマート林業通信(2) ドローンで造林資材を運ぶ.....	15
国有林の現場から(46) 東濃森林管理署の取組について.....	16
林業者向けお知らせ.....	17
市況.....	18

目次 Contents

FREE 岐阜県の森林・林業

No.803 8

もりの 森林のたより

News of the forest

県産材の利用の拡大




表紙●令和元年度に製材工場への木材乾燥機(高温及び高周波減圧乾燥装置)の導入支援を行いました。

**100年先の
森林づくり
シリーズ15**

第3期岐阜県森林づくり基本計画(H29~H33)では、望ましい森林の姿へ配置転換する「100年先の森林づくり」、林業経営を重視した「生きた森林づくり」、環境保全を重視した「恵みの森林づくり」に取り組んでいます。これらの取組状況について、隔月連載でご紹介します。

生きた森林づくり 県産材の利用の拡大

岐阜県では、高品質な岐阜県産材を供給するため、県独自に含水率やヤング係数などの品質・性能の基準を定めた「ぎふ性能表示材推進制度」を設けており、JAS法（日本農林規格等に関する法律）に基づくJAS材とあわせて安定供給を推進しています。

県内のJAS認証工場は28工場となり、ぎふ性能表示材推進制度の認定工場は40工場となっています。

昨年度は、製材工場等での製材機や木材乾燥機などの導入に対し4件支援しました。また、県産材の利用拡大に向けて、東京都や名古屋市などでの展示会においてPRを行いました。

今後も、製材工場等への支援と県内外でPRを行うなど、県産材の利用拡大を促進してまいります。



WOODコレクション(モクコレ)令和元年(東京都)に出展



JAS材



ぎふ性能表示材

【県産材流通課 園山 香代子】 ●詳しい内容を知りたい方は [TEL058-272-8486](tel:058-272-8486) 県産材流通課まで

「白山白川郷ホワイトロード」イベント情報

山岳有料道路「白山白川郷ホワイトロード」の8月以降のイベントをご紹介します。限られた期間しか見ることのできない大自然がここに 있습니다。ぜひ、お越しください。

◆イベントカレンダー

月	日	行事名	内容
8	～30(日)	風鈴の奏で	多治見の陶器の風鈴が涼しい音色で皆様をおもてなし
	8(土)～11(火)	星空観察ツアー	ホワイトロードから見える満天の星を観察するツアー ※参加料別途必要
	中旬	第1回「あなたに贈る大自然と音楽」 (色彩ミュージック)	夏のホワイトロードで大自然と音楽を楽しもう
9	26(土)～10/25(日)	秋のモーニングタイム	通常より1時間早く開門し、ゆっくりと紅葉を楽しめる。雲海や霧虹、滝雲などの幻想的な風景が見られるかも。
10	中旬	第2回「あなたに贈る大自然と音楽」 (色彩ミュージック)	紅葉と音楽と一緒に楽しむ、今年最後の音楽祭
	中旬	錦秋の三方岩岳トレッキング	紅葉の中、三方岩岳までトレッキング ※参加料別途必要

お問い合わせ先

白山林道岐阜管理事務所 TEL/FAX 05769-6-1664
<https://hs-whiteroad.jp/>

【治山課 反中 良太】



文：樹木医・日本森林インストラクター協会 理事 川尻 秀樹

暑い夏に花を咲かせるセンニンソウ。
 センニンソウ (*Clematis terniflora*) はキンポウゲ科センニンソウ属のつる性多年草です。
 つるは長く伸び、節ごとに葉を対生させ、葉は3〜5枚の小葉を持つ奇数羽状複葉です。小葉は卵状楕円形、葉柄を手のように使ってほかの植物や障害物に絡みついて、自分自身を固定して伸びていきます。

8〜9月に茎の先端付近の葉腋から三出状の散房花序を出し、多数の白い花をつけます。4枚の白い花弁に見えるのは萼片で、中央部に数個の雌しべと、たくさんの雄しべを咲かせます。

センニンソウは瘦果の先につく羽毛状の白い毛を、仙人の髭に例えて「仙人草」と名づけられました。この白い毛が美しいため、花が終わっても秋遅くまで楽しめ、この毛を利用して種子散布する仕掛けになっています。

属名の *Clematis* (クレマチス) は、センニンソウ属と呼ばれますが、クレマチスとはギリシャ語で「枝や巻きひげ、巻いた蔓」を意味する *kema* (文献によっては *clema*) に由来します。種小名の *terniflora* は「三出葉、三つの葉」を意味します。

同じセンニンソウ属の中国産シナボタンヅル (*Clematis chinensis*) などの根は、生薬で威霊仙 (いれいせん) と呼ばれ、神

経痛やリウマチに用いられます。

幕末に岐阜県大垣市で活躍した蘭方医で、日本初のリンネ分類による『草木図説 (1856-1862年)』を著した飯沼愆斎 (いぬまよくさい) は、木部巻六の中でセンニンソウについて「原野ニ多キ蔓草：泡ヲ発シテ諸患ヲ治ス：」と説明しています。また佐渡奉行所編の『佐渡志 (1816年)』には、「仙人草、方言ふつくさ、有毒、不可食、皮膚に貼して水毒を吸い、泡を発する効あり。」と記されています。

日本では古来、キンポウゲ科のセンニンソウやケキツネノボタ、ウマノアシガタ等を扁桃腺炎や咽喉炎、気管支喘息、神経痛、リウマチ等の療法に用いてきた歴史があります。扁桃腺炎にはセンニンソウの生葉少量を軽く揉み、下腕の皮膚に貼ると皮膚に水泡ができますが一日程度で完治し、その後扁桃

炎が数年間治まるとされます。この水疱はキンポウゲ科植物の多くに含まれる有毒成分プロトアネモニンによるもので、茎や葉から出る液体が皮膚に付着すると水疱が、誤って口にすると胃や腸の粘膜が炎症を起こし、血便になることもあるのでご注意ください。

地域によってはセンニンソウの茎や葉を魚捕りの魚毒に利用したり、ウジゴロシ (蛆殺し) と称して汲み取り式便所に入れて殺虫剤に利用しました。また牛が牧草と一緒に食べると歯が抜けるとか、本能的に食べないとされ、ウシノハコボレ、ウシクワズ、ウマクワズなどとも呼んだそうです。



▲白い花が美しいですが毒草です

水源地域の保全強化と水源地域の指定対象範囲の拡大

水源地域内で小規模開発を行う場合には、事前の届出が必要になります。

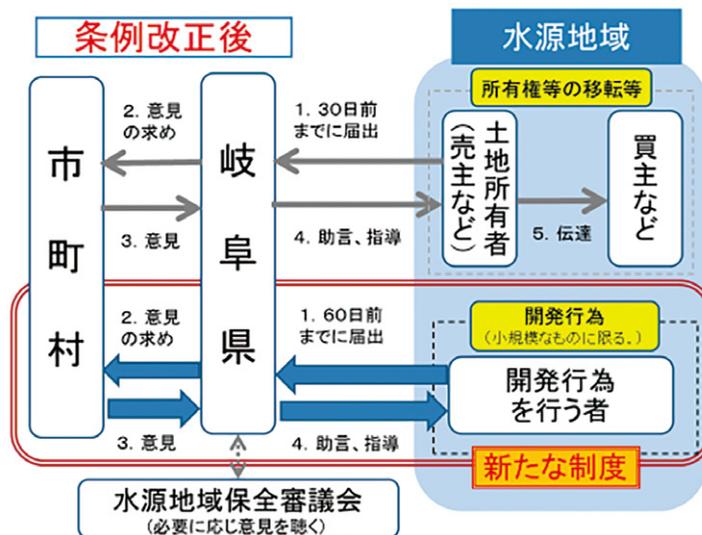
施行は令和3年1月1日から

小規模開発の届出制度の開始 (条例の改正)

県では、水源地域の保全を目的に、平成25年3月に岐阜県水源地域保全条例を制定しました。現在の条例は、水源地域内の土地の売買等について知事への事前の届出を義務付けていますが、これに加えて、水源地域内の開発行為(森林法の規制対象外である小規模なものに限る。)についても知事への事前の届出を義務付けるよう条例の改正を行いました。

- 届出の対象となる土地 … 県が指定した水源地域
- 届出の対象となる行為 … 土石の採掘その他の土地の形質の変更又は水資源を採取するための設備の設置
- 適用除外行為 … 国・地方公共団体が行うもの、林地開発許可・保安林内作業許可を受けたもの、森林の施業及び管理に必要な開発行為、その他規則で定める軽微な行為
- 届出者 … 開発行為を行う者
- 届出時期 … 開発行為に着手しようとする日の60日前
- 届出書の様式 … 県ホームページ(※)に記載予定(8月 月上旬)
- 届出先 … 開発行為を行う土地の所在地を所管する農林事務所
- 制度の適用開始 … 令和3年1月1日(この時点で施工中の開発行為については届出が必要です。)

※https://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo/shinrin/chisan/11519/index_44477.html



民間団体等の取水施設にかかる水源地域の指定 (基本方針の改正)

現在は、市町村水道の取水施設の周辺の森林を水源地域として指定していますが、民間団体等の取水施設の周辺の森林についても水源地域として指定できるよう「水源地域の保全に関する基本方針」の改正を行いました。指定の手続きは、県ホームページをご覧ください。

おわりに

上記の改正により、水源地域の保全をより強化する体制が整いました。この制度が、県民の皆様の利用する水資源の確保とともに県内の清流を守ることにつながることを期待します。



山のおじまむし



—3か月で9cmに成長、カマキリ—【第349回】

自然学総合研究所 野平 照雄 ● Teruo Nohira

今回もカマキリの話をして。今回は卵から孵った子供がパンなど食べて1.5cmになったところまでお話した。しかし、この後が大変になってきた。パンを食べなくなったからである。カマキリの子供は小さな虫しか食べない。ハエやアブなどを採って与えた。しかし、カマキリは100匹以上もいるので、毎日与えるのは無理。餓死するものが出てくるだろうと覚悟した。しかし、6日経っても皆元気。何故。首をかしげた。カマキリは雨が降り続くと、何日も餌を捕ることができない。だから空腹に耐えられるような体になっているのではないかと考えた。ある日姉のちびちゃんが「カマキリが食べられている」と知らせに来た。カマキリが別のカマキリを食べていたのである。やはり腹が減ると、共食いが発生する。すぐに餌を与えなければと、餌採りをした。しかし、たくさん採れない。この間に共食いがさらに激しくなった。このままでは全滅してしまう。そうすると、ちびちゃんたちががっかりするだろう。神頼みをしながら大量に採れる虫を探した。しかし、餌となるような虫は見つからなかった。カマキリの飼育は難しいと、半ばあきらめかけているとき、先端部が黒くなっているレンゲが目に入った。そこには小さなアブラムシがたくさん付着していた。これだ!と胸が弾んだ。しかもアブラムシの付いている、先端部の黒いレンゲはたくさんある。神頼みの効果があったのだと嬉しくなった。

× × × ×

このアブラムシをカマキリに与えた。すぐに前足で捕まえて食べ始めるものが何匹もいた。やはり空腹だったのだと思った。ところがどのカマキリも1匹食べただけで腹がふくれるのか、2匹目を口にできなかった。静止したまま動かないのである。30分、中には1時間以上動かないものもいた。餌を食べたカマキリは、飼育箱の壁、天井、底面や止まり木などでじっとしている。これが100匹以上。飼育箱の中でしか見ることのできない異様な光景であった。しかし、1匹のカマキリが次々とアブラムシを食べることはなかった。子供のカマキリとは言え、わずか2mmのアブラムシ1匹で腹一杯になるとは思えなかった。これもカマキリの生き残り戦術?こんなことが頭に浮かんだ。獰猛なカマキリも子供の時は外敵の餌食になる。だから身を隠してじっとしている。動き回ると体力が消耗するので、たくさん食べなければならぬからである。確かに小食である。そのかわり成長は遅い。アブラムシを2週間与えても、体長は2.0cmくらいであった。

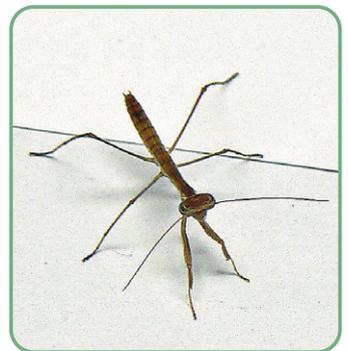
× × × ×

ちびちゃんたちはコロナの影響で毎日自宅生活なので、しょっちゅうカマキリを見ていた。「おじいちゃん、また餌を食べたよ」「皮を脱いでいるカマキリを見たよ」「カマキリが大きくなったよ」

などと私に話し、観察が楽しそうだった。孵化して1か月後には2.5cmになった。成長するにしたい食べる量も増えたのであろう。ところがこの頃からアブラムシが採れなくなり、死亡するカマキリも多くなってきた。再び小さな虫を採り始めた。いろいろな虫を与えた。するとバッタやイナゴの子供、アブ、ハエ、芋虫などを好んで食べた。しかし、コガネムシ、ハムシ、テントウムシなど表面が丸くて硬いものを襲うことはなかった。餌になる虫は1日おきに採りに出かけた。これが大変なので、途中からクモも与え始めた。5月半ばには4cmになった。ところがこの頃から自然死や共食いで死亡するものが増え、5月下旬にはわずか4匹になってしまった。200匹いたのが2か月後にはわずか4匹。厳しい現実を目にした。しかし、生き残ったカマキリは6cm以上。野外のカマキリよりはるかに大きい。これは餌不足だけではない。飼育箱が狭いのでストレスがたまったのも一因。そんな気がしたので、大きな飼育箱にした。その後は死亡するものは出ていない。

× × × ×

カマキリの飼育はちびちゃんだけでなく、私も楽しくなってきた。知らないことが次々と出てくるからである。その一つがクモ。クモの巣を張るものはカマキリに襲われると体から糸をだす。これがカマキリに付くと動きが鈍くなるので、別のカマキリの餌食になることがある。これを知ったカマキリは、糸で垂れ下がっているクモを襲うことはなかった。また6月上旬、餌として採った虫の中に4cmのカマキリが3匹いたので、これも飼育箱に入れた。するとその日のうちに、もともと住んでいる6cmのカマキリの餌食になってしまった。2日後、さらに大きい5cmのカマキリを入れると、これも食べられてしまった。このことから、大きなカマキリは小さなカマキリを好んで食べるように思えた。6月中旬、学校が始まった。カマキリは4匹とも元気だ。体も大きくなり9cmを越すものがある。餌を入れると大きな鎌で虫を捕まえ、かぶりつく。迫力がある。ちびちゃんたちは真剣な眼差しで見ている。ここまで育てたカマキリが死亡すれば、ちびちゃんたちは悲しむだろう。何としても成虫になるまで育てたい。それまであと1か月、せっせと餌虫採りに通うつもりだ。



▲愛らしいカマキリの子供



揖斐川町立いびがわ図書館

揖斐郡揖斐川町上南方27番地9



施設全景

○ 施設概要

事業年度	令和元年度
事業主体	揖斐川町
構造 延床面積	木造（CLTパネル工法）※一部RC造 1,360.24㎡
施設用途	図書館
木材使用量 使用樹種	456.8㎡ スギ、ヒノキ
全体事業費	459,800千円
助成額	80,000千円
設計者	内藤設計事務所
施工業者	株式会社 古川工務店
工期	令和元年7月12日から令和2年2月24日



1階・児童コーナー

1階・木育ひろば



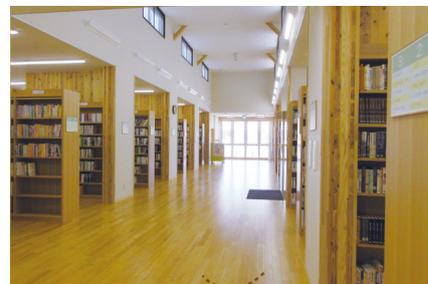
施設の経緯

昭和55年に建設された旧揖斐川図書館は建物のバリアフリー化や耐震強度、老朽化対策等、多くの課題がありました。

新図書館は、岐阜県内ではまだ事例の少ないCLTパネル工法で建設されました。木造部分には、県産材をふんだんに使用し、木の香りとぬくもりを感じられる図書館に生まれ変わりました。



1階・新刊コーナー



2階・一般書コーナー

ここに注目!!

県産材を利用した家具を設置した木育ひろばです。「遊ぶ」と「学ぶ」を体験できるように、県産材を使ったおもちゃや木育をテーマにした様々な図書を展示しています。

利用者の様子

木のぬくもり、香りなど、木造ならではのあたたかさを感じていただけるように、児童コーナーは、靴を脱いで利用してもらっています。

■問い合わせ先
揖斐川町立いびがわ図書館
TEL 0585-22-0219

治山・林道研究課題

治山、林道の各研究会では、日頃の業務で直面する課題について、調査・研究を行っています。今年2月に行われた発表会で発表された研究課題を紹介いたします。

尾城山林道における維持管理の軽減に配慮した取組について

恵那農林事務所 宮腰 博幸

尾城山線の概要

この林道は、加茂郡白川町と中津川市とを結ぶ全体計画延長約三十三kmの森林基幹道です。この林道では、開設時に間伐材を利用した木製アスカーブや木伏工を施工しています。

木製アスカーブの状況

開設済区間のうち、破損が確認されている平成九年から平成十三年度迄に開設された延長約2kmの区間において現地調査を行いました。



▲木製アスカーブ破損状況

討のため、資材調達が容易であり、施工単価が最も安価となったアスカーブ(小断面)を選定し、施工しました。難点としていた施工性も専用機械が使用出来たため、普通のアスカーブと遜色のない施工性でした。

項目	名 称		
	①地先境界ブロック	②木製アスカーブ	③アスカーブ(小断面)
施工単価	× 2,431円/m	△ 2,051円/m	○ 1,055円/m
腐食に強い (埋中劣化による)	○ 腐食しない	× 腐食する	○ 腐食しない
資材調達	○ 容易	○ 容易	○ 容易
施工性	× 製品の長さが短く手間がかかる ・カーブ施工が難しい ・固定が難しい	△ 比較的容易	△ 公共工事ではあまり使用されない規格 ・カーブ施工が難しい
影響幅	△ 33cm	○ 25cm	× 44cm
判定	△	×	◎
【参考】 路面との高さ	12cm	10cm	13cm

案◎を採用

維持管理の課題

今回の調査結果を踏まえ、林道の維持管理では、以下のような課題が感じました。

林道における木材利用は屋外使用となり、風雨にさらされ腐朽します。これにより、取替等の作業が必要となります。

林道を取り巻く情勢も変化し、現状では、林道の維持管理に係る人手や予算を十分に確保することは難しい状況にあります。林道工事は、全線完成するまでの事業期間も長く、完成後の維持管理負担を極力軽減する、すなわち破損による資材の取替が生じない工法の採用を考える必要があると感じています。

まとめ・今後の課題

林道工事においても、木材を利用することは重要であると考えます。しかし、今回の調査では、縦断勾配やカーブに係らず木製アスカーブの破損が確認されました。

今後への課題としては、小断面のアスカーブの施工後の検証までできていないことから、今後も引き続き施工後の状況を調査していきたいと考えています。

最後になりましたが、今回の研究に際し、協力いただいた方々にお礼を申し上げます。



●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0573-26-1111

恵那農林事務所まで

『森林・環境税』で“緑豊かな清流の国ぎふづくり”

4

県では、「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用し、県民みんなで豊かな自然環境を守る様々な取組みを行っています。こうした取組みの内容について連載で紹介します。

野生鳥獣保護管理推進事業(カワウ等被害対策)

～豊かな漁場を守る!カワウ等被害対策の取組みを支援します～

【事業実績】

岐阜県には、世界農業遺産に認定された「清流長良川の鮎」に代表される水産資源が豊富にあります。それらアユやフナ等の水産資源を、カワウやカワアイサ等の水鳥による食害から守るため、漁業協同組合や市町村の鳥獣被害対策協議会が実施する追払いや捕獲等の取組みを支援しています。令和元年度は計29団体における取組みを支援しました。

【代表的な取組み】

(1) 追払い

ロケット花火や爆竹で銃声に似た大きな音を立てることによって、カワウ等を追い払いました。(17団体が実施)



(2) テグス・テープ張り

カワウ等が漁場に近づきにくくするため、河川にテグス(太い釣り糸)や反射テープを張りました。(5団体が実施)



(3) 捕獲

市町村が許可する有害鳥獣捕獲により、カワウ等を駆除しました。(23団体が実施)



(4) ドローンの活用

高い樹上や湖の対岸等、営巣地の生育状況をドローンで確認することによって、計画的な捕獲を実施することができました。(2団体が実施)



シリーズ

森林文化の 研究と 実践

1

岐阜県立森林文化アカデミー
課題研究公表会要旨

松くい虫被害を受けた アカマツの利活用

—炭づくりと刀剣鍛冶—



森と木のクリエイター科 林業専攻
杉浦 義隆

1. 研究の背景

マツは古くから日本人の生活と密接に関わり、建築用材、薪炭材、松脂、航空機の燃料の代替品(松根油等)、多様な活用がされてきた。その一つであるマツ炭は刀剣鍛冶に不可欠の燃料であり、日本有数の日本刀産地である岐阜県関市とも縁が深い。現在、マツは、「松くい虫」(マツノザイセンチュウ)の被害を受け厳しい状況に置かれている。松くい虫の被害木は放置しておくとも松くい虫被害の拡散を招く要因となることから、被害拡大を防ぐためには、被害木の適切な処理が必要であり、製炭も有効な処理法の一つとなる。

研究に先立ち、御嵩町町有林の整備活動の一環として製炭も行っているボランティア団体「水土里隊(みどり隊)」にヒアリングしたところ、「松くい虫の被害を受けたマツを炭にすることはできると思うが、枯れや腐朽の状態とできた炭の品質との関係性がよくわからず使いづらい。」「炭材の見た目や重量で判断しているが、判断基準が一定でない。」「枯れや腐朽の状態と炭の品質との関係性がわかれば、枯れマツをもっと有効に活用できる。」等の回答をいただいた。

2. 研究の目的

松くい虫の被害を受け枯れたマツ(アカマツ)を炭にしたとき、どのような品質の違いが表れるのかを明らかにし、その松炭が刀剣鍛冶に利用できる品質のものができるのかを検証する。

3. 研究の概要

岐阜県御嵩町及び「水土里隊」の協力のもと、岐阜県御嵩町の町有林を使用させていただき、松くい虫被害木の調査、伐木、造材、製炭、測定を実施し、考察した。

4. 調査・測定

a. マツ枯れの調査、伐木・造材

御嵩町町有林の水土里隊活動エリアにおいて、マツ枯れと推測されるアカマツを抽出し、月1度の間隔で



写真1 造材時写真

経過を観察し、外観から枯れ具合を5段階で評価。枯れ具合5(最も枯れている)と判定した立木2本を伐倒し、40cmに造材、薪割り機を用いて4つ割り、6つ割りの炭材に加工とした。伐倒した材の小口面は青く変色しており、青変菌が入っていることが確認された。

b. マツノザイセンチュウの調査

マツ枯れの原因がマツノザイセンチュウであるかどうかを確認するため、木工用ドリルを用いて、幹及び枝から木片を採取し、ベールマン漏斗法によりマツノザイセンチュウの有無を調査した。結果、すべての材からマツノザイセンチュウが検出された。



写真2 左:調査風景 右:検出したマツノザイセンチュウ

c. 製炭

水士里隊の基地にある炭窯で製炭を行った。材による違いが確認できるように、窯内をステンレス製の金網で区画し、1回につき2種類の材で製炭した。

1回目は枯れマツ2種、2回目は健全なマツと枯れマツを製炭した。できあがった炭は、材の種類、窯内の位置(奥、中央、手前)と日時によって分類し比較した。

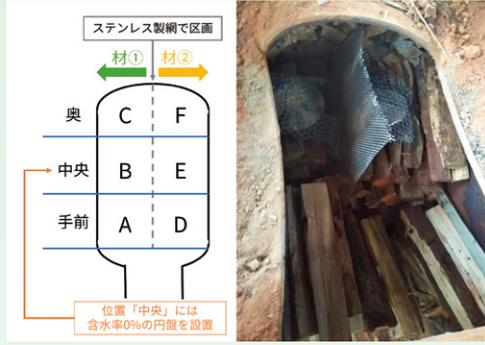


図1 窯の区画図(右は窯内の写真)

また、炭の収率を測るため、各材ごとに円盤を作成し、乾燥前、乾燥後、製炭後の重量を測定し、材の含水率と収率を比較した。円盤の製炭は円盤を窯の中央に配置し、ステンレス製の網で包み判別できるようにした。

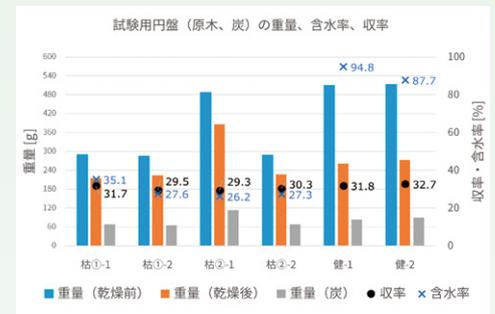


図2 円盤の重量、含水率、収率

結果として枯れマツと健全なマツにおける収率の差異は3%程度と僅かであった。

d. 炭の密度、精煉度

製炭した炭をある程度の大きさに切り、幅15cm×奥行45cm×高さ13cmの段ボール箱に詰め、重量を測定し、密度を求めた。また、分類毎に炭を



図3 各分類の炭の密度

20個体選び、精煉度計を用いて精煉度(電気抵抗値による度合で炭素含有量によって)を計測した。

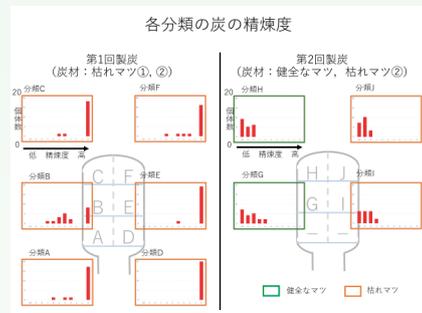


図4 各分類の炭の精煉度

結果、枯れマツと健全なマツにおける密度の差はみられなかった。また、精煉度はマツの状態による違いはみられず、製炭時の温度変化(焼き方)による違いがみられた。

e. 炭の熱量

コーンカロリメーターを用いて、枯れマツで製炭した炭の総発熱量を測定した。結果は4722 cal/gとなり、広葉樹平均程度の熱量となった。

f. 鍛冶屋へのヒアリング

製炭した炭を刀剣鍛冶屋に持ち込み、実際に見ていただき感想をヒアリングした。その結果、「本研究の炭は、岩手県産の炭と比べて軽いが、

利用は可能である。」「刀剣鍛冶の工程においては、折り返し鍛錬には本研究の炭より締まった炭がよく。本研究の炭は焼き入れの時に向いている。」とのコメントを頂いた。

g. 腐朽した材の製炭

腐朽が進みより状態が劣悪な材についても製炭し、炭の状態を確認した。その結果、腐朽が相当進んでも炭にはなるが、明らかに軽く、炭としての品質が著しく悪くなること確認された。

5. 考察

各測定の結果から見て、松くい虫被害を受けたマツであっても腐朽が進んでいなければ、炭の品質は健全なマツと大差なく、刀剣鍛冶用の製炭においても枯れマツが利用可能であることが確認された。また、今後の課題として、折り返し鍛錬に向くより締まった炭を作る製炭方法の検討が挙げられる。

6. 参考資料

中村克典・大塚生美(2019)『森林保護と林業のビジネス化』、全国森林病虫獣害防除協会(1997)『松くい虫(マツ材線虫)―沿革と最近の研究―』、農林省林業試験場(1973)『新版木材工業ハンドブック』

切り身が泳ぐ？

「最近の子は、鮭が切り身の姿で泳いでいる」と思っている。そんな話を聞いたことがあります。ついにそんな時代になったのか？と思いつつも、自分の身近なモノで考えてみると、木製品や革製品なども、意外と生きている(加工される前の)姿を想像できるものって少ないのではないのでしょうか。本物に似せた擬木や木目調のプリント合板、フェイクレザーなど似せて作られたものもあるので、尚更わかりにくい世の中かもしれません。

革になる前は皮

あなたは革製品を持っていますか？その素材が何革かは知っているかもしれませんが。でも、その素材の事をどこまで知っているでしょう

「素材を知ることによって命とつながる」

岐阜県立森林文化アカデミー 講師 ● 新津 裕

か。果たして本当にイメージしている姿でしょうか。

アカデミーでは実習で捕獲した鹿・猪を学内の施設で解体をするところが出来ます。この施設が出来たおかげで、その解体・剥皮された後の皮を使用して有志の学生と皮なめしを行うことが出来るようになりました。

鞣(なめ)し

通常、動物の皮はそのまま利用しようとしても、腐敗し易く乾燥すると固くなってしまいう欠点があります。そこで、古代から人類は様々な工夫を凝らして皮を革製品として加工する技術確立してきました。動物の種類や用途によって薬品を使い分けますが、薬品を使用するのは廃液処理の関係で個人が行うに

はハードルの高い作業。しかし、身近なスーパーなどで手に入るものでも皮を鞣すことが可能です。※鞣しを行われた皮を革と呼びます。

命に触れる

初めて野生動物の捕獲に立ち会う学生には、非常に大きな衝撃があるかと思えます。

「可愛い」と遠くから見るだけの存在だった野生動物が目の前で対峙する獲物となり、躍動していた命が目の前で静かに横たわっていく。

解体が進むと動物から素材へと変化していきます。剥皮した皮を1ヶ月近くかけて自分の手で革に変化させる過程の体験。その過程の中では様々な発見があります。身体の一部によって異なる皮の厚さ・皮に残された傷跡。生きていた素材だからこ



学生が自ら鞣したシカの毛皮

そ、よく見れば様々な痕跡(歴史)が残されているのです。すると、不思議と徐々に愛着が湧いてきます。お金を出して買ったものなら、傷があれば返品交換してしまうかもしれませんが。

買ったモノと自分が関係したモノ、同じ素材でも関わり方が変わると見え方が変化してくるなんて面白いですね。



図1 組織培養で育成された益田5号の山行苗

花粉症を軽減するため、当所では岐阜県産少花粉ヒノキ品種のクローン苗を効率的に育成するための技術開発を行っています。これまでにその取り組みとして、本誌695(2011年8月)号と724(2014年1月)号で、さし木や組織培養における発根の検討を紹介してきました。その後、研究が進み、組織培養により岐阜県産少花粉ヒノキ品種益田5号(以下、「益田5号」という)の山行苗(図1)を育成できるようになりました。今回は、益田5号の培養苗育成における発根以降の技術開発と今後の課題を紹介します。

花粉症の軽減を目指してⅢ 岐阜県産少花粉ヒノキ品種益田5号の 組織培養による山行苗育成

森林研究所 ● 茂木 靖和

1. 技術開発のポイント

① セル苗化による順化

組織培養で発根した培養物を山行苗に育成するには、用土へ移植して、培養容器外の有菌かつ乾燥した環境へ適応させる順化という工程が必要です。

当所では、これまでパラライトなどの菌の少ない人工土壌を用土に用いて、益田5号の順化を検討してきました。しかし、培養物の枯死や雑菌の発生により、次の過程に進めませんでした。そこで、用土を熱成型したヤシ殻主体の固化培地

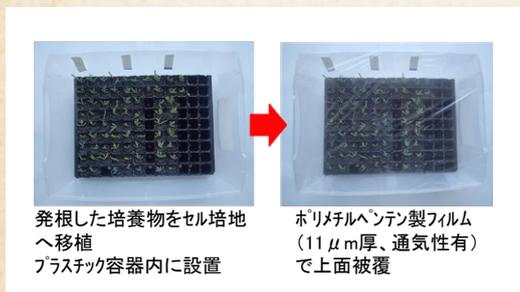


図2 セル培地を用いた順化

発根した培養物をセル培地へ移植
プラスチック容器内に設置

ポリメチルペンテン製フィルム
(11μm厚、通気性有)
で上面被覆

② 組織培養での発根にこだわらない
①では発根した培養物を順化の対象にしましたが、未発根の培養物を順化してもセル苗を獲得できます。
図5は、全培養物を順化した時のセル苗率(セル苗獲得数÷供試数×100)を、順化開始時の培養物に発根が有ったか無かったかに分けてみたものです。発根「有」の培養物(全体の65%)のみを

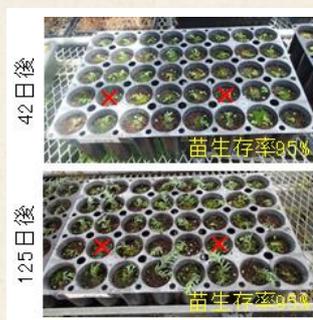


図4 コンテナへ移植後のセル苗の生育状況



図3 セル苗

(以下、「セル培地」という)に変更して順化を行った(図2)ところ、1ヶ月程度でセル培地表面に根が発生したセル苗(図3)を獲得できました。
その後、コンテナ苗に育成するため、ミスト室でセル苗を用いて山行苗育成を行ったところ、125日後時点で9割以上が生存していました(図4)。セル培地を使用することで、益田5号の発根した培養物を効率的に順化できるようになりました。

2. 今後の課題

今回紹介した益田5号の山行苗は、セル苗をコンテナへ移植してから2年の育成期間を要しました。現在流通している実生のコンテナ苗は、需給調整の円滑化や生産コスト低減のため、1年生苗生産に向けた技術開発が進められており、益田5号の山行苗育成においても同様の取組が必要です。

今後は、育成期間の短縮や前段の②で紹介したような労力の軽減に繋がる技術開発を積み重ねることで苗生産コストの低減を図り、実用化に繋げていきたいと考えています。

順化した場合には、セル苗率は60%にとどまりましたが、発根「無」の培養物(全体の35%)からもセル苗を獲得できることから、セル苗率は85%に向上しました。
発根「無」の状態で行う培養物の順化は、セル培地移植時の根の調整や折損に対する繊細な作業が必要になることから、労力軽減の点でも有効です。

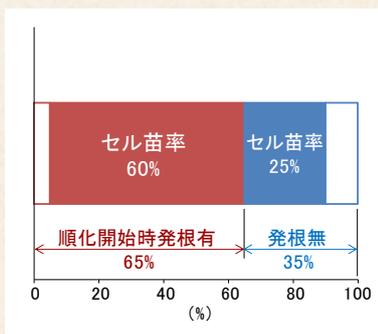


図5 全培養物を順化した時の順化開始時における発根の有無別セル苗率

● 詳しい内容を知りたい方は
TEL 0575-331-2585

森林研究所まで



可茂地域における普及活動について



■可茂農林事務所 林業課

林業普及指導員 正村 慎也

可茂農林事務所管内は、岐阜県中南部に位置し、2市7町1村の10市町村からなる地域で、森林面積は約6万1千ヘクタールで、そのうち5万7千ヘクタールが民有林であり、人工林率は56・4%です。

また大きな特徴としては、北部は東濃松の主産地でもある林業地域（七宗町、八百津町、白川町、東白川村）、南部は都市近郊森林地域（美濃加茂市、可児市、坂祝町、富加町、川辺町、御嵩町）とに分かれ、それぞれ違う視線での普及活動が必要となります。

今回は、令和元年度可茂地域の普及活動として「森林経営管理制度、森林環境譲与税への取り組みに向けた市町村への支援」に重点的に取り組みましたので、その一部について紹介します。

市町村職員を対象とした勉強会の開催

平成31年4月の「森林経営管理法」施行により森林整備における市町村の役割が飛躍的に高まりました。

しかし、当管内の市町村では市町村合併が進まなかったこともあり、森林・林業行政の専門職員が手薄又はいない状態であり、どの市町村も森林経営管理制度について、どこから進めば良いか二の足を踏んでいる状態でした。

このため、少しでも制度が進むよう7月16日、10月1日、1月31日の計3

回、市町村担当者を対象とした勉強会を開催しました。

勉強会では、国から提供のあった情報の共有や各市町村の森林環境譲与税の予算状況や意向調査への取り組み状況などについて話し合いました。

また、第2回目の勉強会では、専門職員の手薄な町に対して合同での現地検討等を提案し、坂祝町、富加町では未整備森林の現地確認を、川辺町、八百津町、御嵩町では意向調査候補地の現地選定確認を実施しました。



▲意向調査候補地の検討状況（御嵩町）

なお、坂祝町と富加町で現地確認を実施した結果、いくつか気づいた点がありましたので紹介したいと思います。

坂祝町及び富加町での未整備森林確認の実施

現地確認は、県が各市町村に提供した「適正に管理していない森林（未整備森林）」を基に、可茂森林組合の施業プランナーも一緒になって森林整備の必要性について判断していきましました。

※「適正に管理していない森林」は、過去に10年間整備を行っていない人工林等の指標を県が所管する森林簿データから抽出し未整備森林と仮定したものです。

坂祝町では、未整備森林として抽出された林小班は171箇所、富加町では418箇所あります。

なお、可茂森林組合からは、「森林整備ができる人工林は全て実施済みである。」との説明を受けていたため、少し疑問を感じつつも、10月17日と3月9日の2日間かけて坂祝町の全箇所を、10月24日に富加町の79林小班を確認しました。

（坂祝町の確認結果）

坂祝町の確認結果は、次のとおりでした。

未整備森林	15林小班
施業実施済み	28林小班
広葉樹林	36林小班
針広混交林	86林小班
竹林	5林小班

小面積人工林 1林小班

特徴としては、「クロマツ」や「アカマツ」の人工林として未整備森林と判断された森林が多くあり、その全てが広葉樹林化していました。

過去には「マツタケ山」と呼ばれていた場所も多くあったそうで、松くい虫被害によってマツが衰退し広葉樹林化したと思われます。

また、神社所有の森林も数カ所あり、スギの大木などで形成され森林整備が不必要と判断される場合もありました。

(富加町の確認結果)

富加町の確認結果は、次のとおりでした。

未整備森林	28林小班
施業実施無地	7林小班
広葉樹林	2林小班
針広混交林	21林小班
竹林	6林小班
ゴルフ場管理地	15林小班

富加町の場合は、坂祝町とは違い森林簿上で人工林マツがあまりありませんでしたが、竹が侵入した森林がいくつかみられました。

なお、坂祝町も富加町も、未整備森林の中にゴルフ場の管理する人工林が多くあり、現地は管理されています。

ゴルフ場敷地内の森林は、林地開発許可条件である残置森林であり、開発業者が管理する森林であることが多いため、そもそも経営管理の意向がある森林として判断し、意向調査の対象としては除外しました。



▲未整備森林の現地確認状況(富加町)

最後に

冒頭でも説明しましたが、当管内では北部と南部で目標とする森林づくりが異なります。また、市町村数も多く、財政規模の違いや交付される森林環境譲与税も様々で有るとともに、市町村の抱える森林の課題も様々です。今後それぞれ別の市町村に寄り添いながら、地域の実情に合わせた多様性のある普及指導活動に努めたいと考えています。

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0574-251-3111

可茂農林事務所まで

スマート林業通信 ②

ドローンで造林資材を運ぶ

5月11日～15日、森林技術開発・普及コンソーシアム主催のドローンによる造林資材の運搬実験を郡上市明宝小川の浅谷県有林で実施しました。新型コクナウイルス感染症予防のため、関係者のみで行いましたが、当日の様子や参加者の意見等を紹介します。

実験に用いたのは20kgまで吊り運搬のできるドローンです。今回は安全を考慮して8kg以下の資材運搬としましたが、植栽する苗木(裸苗)、ツリーシエルト、支柱を作業道から山の上の再造林現場へ空輸しました。

まず驚いたのがその大きさでした。直径160cmくらいある大型のドローンで、ロープで資材を吊り上げて目的の地まで空輸し、オートチャージャーで荷外しを行います。作業道から荷下ろし場所までは直線距離で85m、高低差22m。人力で苗木50本を運搬するのに往復15分かかるところを、ドローンは苗木20本を1分40秒で往復運搬し、単純計算で約4倍の運搬能力があることとなります。ドローンによる資材運搬は条件を整えば造林の省力化、効率化を実現できると感じました。

参加者の意見として、ドローンの操作等に高度な技術が要求されるの

で専門のオペレーターがいなければ対応できない。林業事業者が購入するには製品としてもっと簡単に扱えること。実際の現場に合わせて20kg程度の資材を運搬する実験にしてほしかったという意見が聞かれました。

実験に協力いただきました関係者の皆様にお礼申し上げます。

森林文化アカデミーでは今後も新技術を林業現場に実装できるよう情報収集や実験を行います。実証実験の際は参加者を募集しますので、見学にお越しくください。



サイトテック株式会社のドローン「YOROI」

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0575-651-2000

森林文化アカデミー

スマート林業推進係まで



東濃森林管理署の取組について

東濃森林管理署の取組について紹介します。

●管内概要

当署は木曾川森林計画区に属しています。岐阜県の南東部に位置し、国有林面積は22千haで中津川市をはじめとする4市1町に所在しています。

標高2千mを超える恵那山や三国山、小秀山、笠置山などの山岳と木



▲恵那山

曾川、付知川の渓谷、人工林と天然林が織りなす森林美の優れた自然景観を有しています。

また、当地は銘柄材「東濃松」の主要な生産地であり、面積的にヒノキの占める割合がきわめて高くなっています。

組織につきましては、本署を中津川市付知町に置き、治山事業所(2)、森林事務所(4)を約40名の職員で切り盛りしています。

●事業方針

今年度の事業については、以下の3つの柱のもとに民有林を含めた森林・林業施策全体の方向性を踏まえて計画的・効率的な業務実行に努めていきます。

(1) 公益重視の管理経営の一層の推進

森林の多面的機能を持続的に発揮させるため、機能類型に応じた森林整備を推進します。

荒廃山地の復旧整備や保安林の水土保全機能の強化等に取り組み

ます。保護林のモニタリング調査、木曾悠久の森の課題克服に向けた専門家意見を踏まえた取組、ニホンジカ等獣害対策の地域と連携した取組を行います。



▲神坂大松

(2) 森林・林業再生に向けた貢献

森林経営管理制度を踏まえた民有林と連携した森林整備等の推進をします。

森林整備に係るコスト低減は不可欠となっており、伐造一貫作業システムの拡大やコンテナ苗植栽の導入等省力化に取り組みます。

高齢級ヒノキのブランド化とその普及・定着・価格向上を図り、木材利用の働きかけを通じ需要の拡大を図ります。

(3) 山村地域の振興と森林の総合利用

森林環境教育や地域イベント等へのフィールドや人材等の提供、森林・林業に関する情報提供などにより、国有林野事業に対する理

解を醸成し、地域の振興に寄与する取組を推進します。国民の保健、文化、教育に資するレクリエーションの森を将来にわたって提供するため、観光資源の創出事業の活用やレクリエーションの森のリフレッシュ対策を地域と一体となって推進します。



▲森林教室

●最後に

「国有林があつてよかった」「東濃森林管理署があつてよかった」と地域から評価されるように情報発信・提供に努めて行きます。

(東濃森林管理署)



開催日	行事名等	内容等	開催場所 問い合わせ先
8月27日(木)~ 8月28日(金)	木材加工用機械 作業主任者 技能講習	●講習時間: 27日~28日 8:30~17:40 ●申 込: 開催日の20日前まで ●受講料: 17,600円(本代含む)(振込み) ●定 員: 40名 (定員になり次第締め切ります。)	JAひだ古城営農センター2F (飛騨市古川町上野571-1) 林材業労災防止協会岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
9月9日(水)~ 9月11日(金)	伐木・チェーンソー 作業従事者 特別教育	●講習時間 9日 学科 8:50~17:10 10日 学・実 8:50~12:00 11日 実技 8:30~17:40 ●申 込: 開催日の10日前まで ●受講料: 22,770円(本代含む)(振込み) ●定 員: 40名 (定員になり次第締め切ります。)	9-10日 下呂市民会館(下呂市森801-10) 11日 南ひだ森林組合(下呂市乗政25-1) 林材業労災防止協会岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
9月16日(水)	刈払機取扱作業 安全衛生教育	●講習時間 学科 9:20~15:40 実技 15:50~16:50 ●申 込: 開催日の10日前まで ●受講料: 11,550円(本代含む)(振込み) ●定 員: 40名 (定員になり次第締め切ります。)	下呂市民会館(下呂市森801-10) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
10月7日(水)~ 10月8日(木)	機械集材装置 運転業務 特別教育	●講習時間 7日 学科 8:50~16:10 8日 実技 8:30~17:40 ●申 込: 開催日の10日前まで ●受講料: 17,500円(本代含む)(振込み) ●定 員: 30名 (定員になり次第締め切ります。)	7日 ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東2-5-6) 8日 美濃市曾代地内(予定) 林材業労災防止協会岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
10月14日(水)	刈払機取扱作業 安全衛生教育	●講習時間 学科 9:20~15:40 実技 15:50~16:50 ●申 込: 開催日の10日前まで ●受講料: 11,550円(本代含む)(振込み) ●定 員: 30名 (定員になり次第締め切ります。)	ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東2-5-6) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195



コラム

私は郡上市役所で林業職として採用され、林務課に配属されて3年間、郡上市の林業行政に携わったのち、岐阜県庁の林政部へ派遣となりました。

1年目は森林整備課で高性能林業機械の国庫補助事業や意欲と能力のある林業経営者の認定業務等を行いました。2年目となる今年度は林政課に異動となり、市町村森林整備計画や岐阜県地域森林監理士関係の業務を担当しています。

県庁に派遣されてきたこの2年間は、本当に多くのことを学ばせていただいています。岐阜県の林業行政はもちろんのこと、数十年ぶりに感染が確認された豚熱(旧称:豚コレラ)に対する防疫業務や新型コロナウイルス感染症に伴う対応等、かつてないほどの経験をしています。これらの経験を生かして、外見の肥大成長だけでなく、内面を大きく成長させていきたいと思っています。

「森林のたより」編集委員 鷲見 勇貴

9月1日発行

イベント情報

連載

- 山の歳時記(181)
- 山のおじゃまむし(350)

地域の人

清流と森と親しむ

- 森林と人を活かす知恵(92)

木と親しむ

- 岐阜県の公共木造建築(90)

清流の国ぎふ森林・環境税

森林文化の研究と実践

森林・林業技術

- 研究・普及コーナー

市況情報 **その他**

9月号 予定

木材市況 県森連 岐阜・飛騨・東濃林産物共販所

単位:円(1㎡当たり)

回数 共販所名	樹種	長さ	径	平均値	高値	備考	
第1732回 岐阜共販所	すぎ	3 m	16~18cm	11,000	—	単価は直材 価格、但し 平均値は並 材二番玉価 格	
		4 m	16~18cm	9,300	—		
			20~22cm	10,500	—		
			24~28cm	10,200	15,400		
			30cm以上	9,500	15,900		
	6 m	16~18cm	—	—			
	7月14日	ひのき	3 m	16~18cm	14,500		—
			20cm以上	12,000	—		
			4 m	16~22cm	14,500		—
		4 m	24~28cm	12,500	—		
30cm以上			11,500	—			
6 m			16~18cm	—	—		
第1308回 飛騨共販所	すぎ	3 m	16~22cm	10,000	—		
		4 m	24~28cm	9,000	—		
			30cm以上	9,000	19,600		
	ひのき	3 m	16~18cm	13,000	—		
		4 m	16~22cm	12,000	14,000		
			24~28cm	12,000	20,000		
			30cm以上	11,000	—		
		6 m	16~20cm	18,000	—		
		6月24日	まつ	4 m	24~28cm	8,000	—
	30cm以上			8,000	9,800		
	ひめこ		4 m	24~28cm	12,000	—	
			5 m	30cm以上	—	—	
	くり	2.1m	24cm以上	18,000	27,000		
第1640回 東濃共販所	すぎ	3 m	16~22cm	11,000	—		
		4 m	24~28cm	10,800	—		
			30cm以上元	12,000	—		
	ひのき	3 m	16~22cm	15,500	24,000		
			24~28cm	12,500	31,000		
			30cm以上元	14,000	30,000		
		4 m	13cm以下	9,000	—		
			24~28cm	12,800	—		
			30cm以上元	15,000	26,000		
	7月9日	まつ	4 m	22~28cm梁	5,000	—	
			30cm以上元	6,000	—		

木材市場

【商況】

各大型工場は製品販売不振、在庫過多により弱含み。元木についても長雨による虫害材は低調な応札。スギ4m元木良材、中目30cm上は応札旺盛。40cm上並物は活発な応札もあるが、価格は伸び悩み。スギ3m並材、4m並材ともに潤沢な在庫を背景に弱気。ヒノキ並材は、3m、4mともに応札低調。合板向けヒノキ、スギは、在庫が多く荷動きは鈍化。製紙向けパルプ材、大手工場は受入制限があり、出材を予定される場合は共販担当者まで連絡下さい。(岐阜)

出材量は、スギ、ヒノキともに減少。価格も下げ相場となっている。相変わらずスギ、ヒノキの並材、大径木、欠点材は売りづらい。ヒメコ新材は横ばい。広葉樹良材は、高値で推移しているが並材は横ばい。梅雨入りしたことから、今後もしばらく安値水準が続くそう。センコウムシなど害虫発生時期です、速やかな出材をお願いします。(豪雨のため、7月8日の共販市売は中止、次回市としました。)(飛騨)

全般的に感染症の影響にて買い気は鈍く並材(16cm~22cm)やや安値で推移。ヒノキ元木、良材2m・3m・4m(高齢材及び枝打材など(特殊材))は旺盛、やや安値で推移。ヒノキ並材は3m・4m(16~22cm)は、システム販売の安定供給に伴い横ばいか、やや安値で推移。スギは全般に品薄だが、買い気は鈍い。スギ並材は3m・4m(16~28cm)長良川木協、森の合板へ販売。スギ、ヒノキ6m材需要減。センコウムシ等害虫の発生時期です、速やかに出材ください。(東濃)

製品卸売標準価格 (6月期)

(単位:円)

樹種	用途	寸法(mm)			等級	m³当り 価格	(本(枚)単価)	前月 比較
		長	巾	高				
スギ	柱	3000	105	105	1等	60,000	(1,985)	↘
	間柱	3000	105	30	1等	60,000	(567)	↘
ヒノキ	土台	4000	105	105	特等	65,000	(2,867)	→
	柱	3000	120	120	特等	60,000	(2,592)	→
		3000	120	120	(東濃松)特等	65,000	(2,808)	→
		6000	120	120	特等	120,000	(10,368)	→
W集ウ成ド材	柱	3000	105	105	国産5層	60,000	(1,980)	→
		3000	120	120	国産5層	61,000	(2,600)	→

※日刊木材新聞調べ(名古屋標準相場 全てKD材)

外材市況 (6月期)

1㎡当り(価格単価:100円)

樹種	規格	価格	樹種	規格	価格
米松	SSタイプ	306	米榎	へム(アラスカ産)	292
	コースト(目荒)	317	米ひば	ポール	310

日刊木材新聞調べ 名古屋標準相場(径級は30cm上、米松コーストのみ大阪相場)

中目材(なかめざい)

木材用語一口メモ

末口(木の先側、直径が小さい方)の直径が18cm~28cmの原木のことを言います。普通、周辺部から又キ、筋交い、間柱等の羽柄材を取り、中心部からは母屋、ケタ、柱角を取ります。良質な材であれば、周辺部から敷居、鴨居、回り縁、竿縁等を取ります。

(参考)日刊木材新聞の読み方

